

「相談支援部会」中間報告について

1 開催日時等

第48回相談支援部会

令和元年 6月13日(木) 刈谷市障害者支援センター 多目的室

2 部会員名簿

団体等名	氏名
刈谷市障害者支援センター	伊澤 紀明 (部会長)
医療法人 成精会	松本 靖子
社会福祉法人 ひかりの家	山田 哲哉
社会福祉法人 観寿々会	酒井 克朗
刈谷市社会福祉協議会	井上 真志
西三河南部西地域アドバイザー	大南 友幸
刈谷地域精神障害者家族会	長谷川 宏
衣浦東部保健所	梅村 和歌子

3 報告事項

(1) 相談支援部会における検討内容等

ア 刈谷市障害者自立支援協議会における相談支援部会の報告について

令和元年5月13日に開催された第35回刈谷市障害者自立支援協議会にて、相談支援部会関連として昨年度の検討事項と結果及び今年度の検討事項を報告した。

イ 事業報告による地域課題の検討について

各相談支援事業所や保健所、病院、家族会、事例検討研修会を通じて、具体的な事例を共有し、支援方法等を検討することにより、相談員の質の向上を図ることができ、その中から地域の課題や問題点が蓄積されている。

また、昨年度の部会において把握された、計画相談やモニタリングが年度末に集中することについて、市が支給期限を誕生日に合わせる対応をすることとなり、今後、改善が見込まれる。

ウ 地域移行・定着に向けた検討について

平成31年4月から愛知県は措置入院の方の退院後支援事業を開始した。退院を希望されるご本人の意見を取り入れ、病院や相談支援事業所等と協力して計画を立てていくことになるとの情報提供があった。

エ 障害と介護の連携

以前より地域課題として挙がっていた、障害と介護分野の連携を強化するため、令和2年1月31日（金）の相談支援部会において、市内包括支援センターとの意見交換会を開催することが決定し、基幹相談支援センターが包括支援センターへ働きかけをすることとなった。

オ 連絡会について

今年度は相談支援部会と連携した連絡会として、事例検討研修会、居宅事業所連絡会、通所事業所連絡会を開催していく。

カ その他

成年後見支援制度を利用する際に、医師が診断書を作成するにあたり、相談支援事業所に本人情報シートの作成を依頼される場合があるため、協力の依頼があった。

キ 障害者差別解消法について

特になし。

4 総括及び検討課題

地域課題の解決に向けた取り組みとしては、障害と介護の連携強化を図るため、次回の相談支援部会で包括支援センターとの意見交換を行う。また、介護分野からも障害との連携の動きがあり、5月のケアマネージャー研修会において、障害福祉サービスの説明を行った。さらに、11月には包括支援センターとの意見交換会が予定されている。